

会議名	第3回港区放課GO→クラブあかさか運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年11月15日(月曜日)午後1時から午後1時10分まで
開催場所	赤坂地区総合支所会議室
委員	出席者6名 阿部委員長、田中委員、秋山委員、中島副委員長、白井委員、齋藤委員 欠席者なし
事務局	赤坂地区総合支所管理課
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	・次第 ・資料1 第二次審査実施概要 ・資料2 第二次審査採点基準表 ・資料3 第一次審査・第二次審査集計結果 ・資料4 第2回選考委員会議事録概要 ・参考資料1 第一次審査集計結果 ・参考資料2 事業候補者選考基準 ・参考資料3 仕様書(素案)
会議の内容	
A委員	【1 開会】 (委員長より閉会の挨拶)～詳細省略～ 【2 第二次審査実施概要について】 (事務局より資料1について説明) 【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 (A事業者 プレゼンテーション及びヒアリング) 施設長候補者の抱負で、小学校と情報共有をしていきたいとありますが、いつどこで行うのか、また、施設長が出来ない時はどうしているのか具体的に教えていただきたい。
A事業者	毎朝副校長先生と挨拶をし、当日使える部屋の確認、前日の情報共有、配慮が必要な児童の情報共有を行っております。また、施設長不在時には、サブ

	の職員が施設長の代わりに朝の情報共有をしております。
A委員	小学校からお聞きした情報を職員にはどういうふうに流しているのか。
A事業者	毎朝の職員ミーティングで、学校と共有した事項を常勤・非常勤職員含めて情報共有しております。
A委員	二つ目に、施設長としての経験が3年程あるということで、これまでの経験で意見箱に入った中で、それを施設の改善に繋げたとか、計画のプラスに出来たとかありましたら、具体的にお話いただけますか。
A事業者	意見箱に関しては、本のシリーズを増やしてほしいであったり、これまでやってきたイベントをもう一度やりたいであったり、新たなイベントをやりたいたいという意見が入ってきます。もう一度やりたいというイベントは、毎年3月に実施して対応しております。
B委員	地域に愛着を持てるよう周辺のテレビ局や商業施設での職業体験等の提案とありますが、今まで勤務されていたところの中で、地域や企業との協力はありましたか。
A事業者	地域に関しては、年賀状ボランティアや暑中見舞いを作成して、地域の独り身の高齢者の方に向けたイベントを実施し、地域との交流を図ってまいりました。
B委員	今まで企業との連携の経験はまだですか。
A事業者	はい、まだです。
B委員	これから企画していくにあたって、こういうことを配慮していかなくてはいけないと思うことはありますか。
A事業者	商業施設がとても多くあるので、ハロウィンイベント等で商業施設を歩いて、自分達がどういう場所で過ごしているのか確認出来るようなイベントを実施していけたらと思っています。
	異年齢の交流の機会で、GO→菜園が非常に面白いと思ったのですが、今まで実施されたことはありますか。

A事業者	毎年、春にはチューリップ、夏には夏野菜など季節に応じたものを植えて、育て方やどういったものができるか、できたものに対して調理をしたり、オクラスタンプ等にしてイベントに活用したりしています。
C委員	支援が必要なお子さんがいると思いますが、そういったお子さんへの対応としてどういったことをされているのかと、保護者対応はどんなことに気を付けているのか教えてください。
A事業者	支援が必要なお子さんに関しては、環境が変わるとストレス等も感じやすいので、声掛けや学校と協力をして同じような対応をしていけたらと考えております。また、保護者との連携体制についてですが、お迎えの時に直接お話をしたり、保護者会や個人面談などの場面で情報共有をしております。
D委員	一つ目に、リーダーとして職員管理で日頃意識していることや配慮していることがあれば教えてください。二つ目は、令和5年度から学童クラブの定員拡大が予定されているとあります。人材確保策として特に力を入れていることがあれば教えてください。
A事業者	リーダーとして気を付けていることは、施設をまとめる力を大事にしております。職員の意見に対して最終的な決断を下すのはリーダーだと思っていますので、そういったまとめる力が大切であると考えております。二点目について、運営させていただいている施設の職員からの紹介に注力しております。また、各施設の募集広告についても、一律に同じ文面や写真ではなく、各施設の特徴や地域柄に応じて募集活動を行っております。採用の部分では、地域の方々の力というのが非常に大切だと感じておりますので、そちらの確保を進めています。あとは採用した方々が定着していただけるように、当社独自の研修に力をいれて取り組んでいるところです。
E委員	職員の定着とありましたが、採用経費に100万円程かかっています。どのような経費として捉えているのでしょうか。
A事業者	一定数広告を出したり、採用チームにかかる経費もあります。あとは、紹介会社経由での募集も含めた経費を見込んでおります。
E委員	安全管理の部分で、第三者の目での相互巡回を定期的に行っているということですが、具体的に説明していただいてもいいですか。
A事業者	相互巡回については、施設長が他の施設に来て、高い位置に物が置いていな

	<p>いか等、安全確認を含めて巡回をしております。どの職員が相互に巡回をしても決まった内容でチェックが出来るように、独自の相互巡回チェックリストを設けております。</p>
E委員	<p>あかさかの職員も他の施設へ行きますか。</p>
A事業者	<p>そうですね。施設同士の牽制機能を働かせるという取り組みで今年度からスタートしております。</p>
E委員	<p>あくまでも設備的なもので、学童クラブでの事業内容は入らないのですか。</p>
A事業者	<p>受け入れであったり、おやつ提供の仕方であったり、マニュアルに順守して作業が行えているかの確認も行っております。</p>
委員長	<p>遊びとか活動についてきっかけづくりをする、さらには活動のサポート、それから自然に考えられるような機会づくりをするという3点について、具体例を教えてください。</p>
A事業者	<p>支援が必要なお子さんが主ですが、自分からコミュニケーションをとることが長けていない部分もありますので、職員が寄り添って声掛けを重点的に行い、いろいろな方向性や、遊びを覚えられるようなきっかけづくりにしていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>そこに参加する子供達全般にきっかけづくりをするのではなくて、消極的で入らないお子さん等のきっかけづくりですね。</p>
A事業者	<p>そういった部分を大まかに行いつつ、全体で活動する内容に関しては、積極的に参加してもらえようような声掛けを行いたいと思っております。</p>
委員長	<p>声掛けがきっかけづくりですか。</p>
A事業者	<p>はい。</p>
委員長	<p>自然に考えられるような工夫はどういう感じですか。</p>
A事業者	<p>ルールが発生するイベントの際には、自分達でどういったルールでこの遊びをするのか考えて、イベントを成立させるという取り組みを行いたいと考えております。</p>

委員長	中学校へのスムーズな移行はどのようなものでしょうか。
A事業者	5、6年生になると校舎が中学校へ移動する予定ですので、部活動の見学など中学校の活動を見られる機会をつくり、子供達がイメージを持ってスムーズに中学校に上がれるような取り組みをしていきたいと考えております。
委員長	今まで臨床心理士を必要とするケースはどのようなものがありましたか。
A事業者	確実に診断がついているお子さんもいれば、ついていないケースもございます。個別に保護者と面談をしていく中で、施設長の経験値だけでは応えきれないような質問に対して、施設長自身が悩むというケースも多々ございます。施設長に対する臨床心理士の巡回と面談を含めたアドバイス、具体的な支援についてアドバイスをするケースがあります。加えまして、保護者から依頼がありましたら、臨床心理士自身が相談に同席するようなケースもございます。学童含めた児童期のお子さんの発達支援について、総合的なサポートをいただいている状況でございます。
委員長	保護者との関係ですが、保護者会にも出てこないとか、お子さんの受け渡しの時でも話すチャンスがないとか、そういう方にはどういう配慮をしていますか。
A事業者	定期的に電話をして話す時間を設けたり、学校に来るタイミングを学校と情報共有し、少し時間をいただいております。
委員長	上手くいっているとお感じですか。
A事業者	はい。
委員長	それ以上の難しさはない。
A事業者	今のところはありません。
事務局	審査はこれで終了となります。事業者の皆様ありがとうございました。 (A事業者退席) (採点・休憩)

<p>委員長</p>	<p>【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】 それでは審査に当たりまして評価したポイント等各委員から講評をお願いしたいと思います。</p>
<p>A委員</p>	<p>お任せしていい事業者であると思っております。施設長候補者の経験は長くはないけれども、こちらの問いかけに対して自分の言葉で答えようとされていたのですが、ちょっと詰まったり、少し心許ないという印象を受けました。ただ、施設長候補者をバックアップする体制は持っているとは評価しました。他の部分については、人材のところでも質問しても、かなり書きぶりとしては、たくさん施設を受託していて、職員も多く、研修もすごい数やっている書きぶりながら、ちょっと言っていることと、やっていることがチグハグかなど。悪くはないですが、普通という点数を付けさせていただきます。</p>
<p>B委員</p>	<p>プレゼンテーションは提案書で不足していた部分、特に異年齢の交流の部分とか安全確保の部分が補足され良かったと感じましたが、地域特性を踏まえた工夫のところでも質問をしたところ、その提案自体は独自性があるって大変興味深く、具体的な計画を質問で聞いてみたかったのですが、そこまで深くイメージを持たれていないようで少し残念に感じました。こうしたプレゼンテーション案が出てくるということは、本部の方の独自の企画力というか創造性というものを感じ、サポート面では期待できると感じました。総合的には安定性があると評価しております。</p>
<p>C委員</p>	<p>赤坂小学校の理念が、すべての教育活動は赤坂小学校の子供たちのためにと掲げていまして、こちらの事業者も、コーポレートメッセージがすべては子供たちの笑顔のためにと掲げているので、そのあたり方向性が同じかなというところで、評価できると思っております。それから様々な活動についても、子供たちのために、何をしたらいいかという視点で提案しているので、お任せする相手かなと感じました。</p>
<p>D委員</p>	<p>施設長候補者の戸惑いを見せつつしっかり答えていたところや、学校との連絡調整等も意識していて、安定性のある運営が期待できると評価をしました。また、本部についても、大手事業者ならではの組織立ったバックアップが示されているところを評価しました。安全管理については、提案書になかったような職員配置のイメージ等も具体的に示されていた点を評価して、総合的に評価が出来るとしました。</p>
<p>E委員</p>	<p>施設長候補者について迷いましたが、施設長4年目としては良しとするかというところで16点にしました。事業内容は子供への関わりとか、子供の思</p>

<p>委員長</p>	<p>いを引き出すとかの質問に窮するところがありましたが、全体的には子供への関わりも運営として安定していると捉えました。あと本部のところですが、全体的なバランスはとれているということで、総合的にもこちらの事業者に任せて大丈夫という評価をさせていただきました。</p> <p>私も任せていい業者だと最終的に思っております。施設長については、もっと経験しましょうと。子供自身が自分から動けるようにしてあげるのは学び方として大事なので、そういう視点が少し弱いのは、これから勉強していただきたいと思います。真面目で、勤勉さというか、そういう姿勢は感じられたので、そこは評価しました。今回、中学校との関わりが出たのは非常に重要な視点だと思います。高学年、特に6年生になりますと重要な課題です。ごく自然な関わりの中で体験させるというのは、書類審査よりも少し踏み込んで聞けたので評価を高くしております。あと、会社のバックアップ体制がベテランで非常に安定していると感じましたが、職員確保大丈夫ですか。ちょっと弱気でしたね。どこがうまくいかない原因なのか対応するのは会社の役割ですから、そこが見えなかったのは少し不満でしたが、バックアップ体制はベテラン揃いでなかなか的確だったと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>各委員からの講評を踏まえ、ご自身の採点について修正はございますか。</p> <p>(修正なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは集計結果について報告させていただきます。</p> <p>A事業者は、第一次審査 873 点、第二次審査 452 点、総合 1,325 点です。加点項目含めた満点は 1,840 点ですので、A事業者は全体の 72%を獲得し、選考基準の 60%は確保しています。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、事務局からの集計結果をもちまして、本委員会ではA事業者を事業候補者として選定することとしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p> <p>【5 その他】 (事務局より資料4について説明)</p> <p>【6 閉会】 (委員長より閉会の挨拶) ~詳細省略~</p>